



旧中津小学校、バックにシンボルの明神山が望める

## 久万高原町の中津地区

旧柳谷村の中津地区は、松山から国道33号を行くと高知との県境にあり、7つの自治会で編成される世帯数約130戸・人口約260人の地区です。

シンボルとなる中津明神山（1541m）の比較的傾斜が緩やかな麓に、古くから人々が住んだことから、江戸時代までは久しく人が住む「久主村」と呼ばれていました。

南に向かつて開けた棚田は美しく、その中心に久万高原町公民館中津分館施設となった旧中津小学校があります。

## 特集⑤ 廃校舎の活用

# 廃校になった校舎に歌声がひびく

「大人の音楽学校」で地域が元気！



久万高原町公民館 中津分館 主事 稲田 稔久 (久万高原町)

高知との交流もあるせいかな人々は陽気で、何かにつけて結束力の強い気質があり、公民館を中心に活動も活発で、柳谷壮年会と一緒に「事業を実施しています。また樹齢230年の「西村大師堂のしだれ桜」を中心に開催される「中津さくらまつり」には、期間中延べ約6000人の方が訪れます。

## 旧中津小学校

旧中津小学校の校舎は、平成元年に地域の願いを込めて木造で建築され、幼稚園も併設されていました。

しかし過疎化・高齢化が進み児童・園児数が予想よりも急激に減少して、平成13年3月ついに閉校。学校創設から116年の歴史に幕を閉じました。

## 旧中津小学校活用の模索

閉校以来、地区の中心にある学校施設の活用方法はないかと、高齢者福祉施設への転換などが模索されましたが、施設の改修や運営などの問題もあり、結局は年数回の地域行事での使用となっていました。学校施設が比較的新しい木造2階建てで、体育館・プールも敷地内にあり、住民の文化活動も盛んで色んなことに協力的など、これらの特色を活かして改修経費や運営費をかけないで、しかも地域の活性化につながるものはないか？

## 大人の音楽学校として活用

世代は「音楽」でつながり、キーワードは「音楽」という考えの下、

○地域のロケーションや自然・歴史・文化を活かす。

○木造校舎がもつ音響効果



中津さくらまつりでのライブ

中津ミュージックキャンプ

音楽室で開催された亀工房「ハンマーダグマー」のライブ



スタジオ内

平成21年春に地元音楽愛好者による「中津さくら宵まつり音楽会」を開催して、木造の校舎や音楽室がもつ雰囲気の中、音楽を地域みんなで楽しめたことが、「大人の音楽学校」誕生のきっかけとなりました。その頃松山市でスタジオOWL(オウル)

中津ミュージックキャンプと  
結い音楽祭

- 放送室を録音スタジオに
  - 多目的ホールと音楽室を使ってライブステージ
  - 大きな公演は体育館また近くの「さんさんドーム」で
  - 隣接の公民館施設も活用
  - 夏場はリゾートプール
- という形で、「大人の音楽学校」として活用が企画されました。

を運営する高橋孝雄さんを新聞で知り、公民館と一緒に、なって「中津ミュージックキャンプ」をやろうということになりました。

キャンプには、県内外からアマチュアミュージシャン

ンやその家族が訪れ、1泊2日の日程でライブや音楽創作、スタジオ録音、夏にはプール遊びや地域探訪などを行い、地域の方との交流を深めています。キャンプは春・夏の開催でこの夏には10回目となります。

平成22年度に中津地区は愛媛県の「元気な集落づくりモデル事業」の指定を受けました。

地域資源や地域活動の見直しが行われ、公民館には新たに「大人の音楽学校」「田んぼの学校」「食の文化」活動が位置づけられ、活動を伝えるホームページも開設して、それぞれがつながりながら活動が行われています。

また、学校整備では、シャワーの設置、トイレの洋式化、郷土出身の彫刻家の展示室や手作り石窯もできました。

放送室は本格的にデジタル録音できる施設設備の整備を行い「中津ソニックススタジオ」と命名しました。

また、学校の音楽室はステージやピアノ、音響設備などが充実してきています。

施設は、ミュージックキャンプのほか、プロのミュージシャンを招いての音楽会、秋の芋たき音楽会、冬のクリスマス音楽会など四季を通して活用される一方で、メンバーは学校内だけでなく、町・県内外に出かけて行く出前演奏活動も行っています。

これらにより地域住民の活動はより活発となり、つながりは深まって一昨年から東日本大震災復興支援の「結い音楽祭」も開催しています。



「結い音楽祭2012」には1300人が来場した(やなだにさんさんドーム)

課題と今後の展望

大人の音楽学校の課題としては、活用すればするほど施設の受付案内・管理・運営をどうしていくかという課題が出てきており、公民館の枠を越えようとしています。

反対に、もっとHPなどを使って情報発信し、音楽に関心のある方との交流を深め、更なる活用を図っていく必要があります。

限界集落といわれる地域で、廃校を生かした「大人の音楽学校」活動は、産みの苦しみを経て、いま次のステージに進もうとしています。